

<様式1> 管理運営状況評価書

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

【対象年度:令和4年度】

(②福祉施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名	掛川市老人福祉センター山王荘		担当課名	長寿推進課	記入者職氏名	主査 廣岡 倍男
区分	内容・説明					
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市老人福祉センター条例				
	(2)施設設置目的	老人福祉法により高齢者は、生きがいを持てる健全で安らかな生活を保障されており、心身の健康の保持及び社会活動への参加のため当該施設を整備し、もって老人の福祉を図ることを目的とする。				
	(3)施設が有する設備、機能の概要	大集会室、研修室、談話室、休養室、娯楽室、面接室、健康相談室、機能回復訓練室				
	(4)施設建設年度	昭和53年度				
	(5)耐震性能の有無	あり				
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)	水道管補修工事				
		壁面クラック補修工事				
		電気設備(コンデンサー及び高圧ケーブルの更新) 約1,600千円				
	(7)指定管理者名	中部ビル保善株式会社				
	(8)指定期間	令和3年4月1日 から 令和8年3月31日 まで				
	(9)債務負担行為設定の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 設定あり <input type="checkbox"/> 設定なし		※設定ありの場合、(期間 令和3年度～令和7年度) (限度額 100,765千円)		
	(10)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営				
	(11)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。		
(12)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。			
(13)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし					
(14)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 年度)			

区分		R02実績	R03実績	R04実績	R05当初	備考	
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	13,200	12,000	7,500	12,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		(実績値)	6,210	6,695	6,980		
	内訳 (施設・設備ごと)		6,210	6,695	6,980		
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
		(定員 人)	A平日昼間				
			B平日夜間				
C土日祝昼間							
D土日祝夜間							
区分		R02実績	R03実績	R04実績	R05当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費		804	1,194	1,439		
	(3)運営日数		240	291	291	291	
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		②臨時職員	1.7	1.7	2.0	2.0	

Ⅱ 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		R02決算額	R03決算額	R04決算額	R05当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	3,833,527	6,593,055	7,869,428	5,330,600	
	②印刷費					
	③通信費	148,953	141,491	120,248	187,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	288,918	216,754	431,627	286,000	
	⑤借上料	596,585	664,564	600,484	741,400	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	107,618	118,970	818,789	220,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	20,320	259,805	205,386	563,200	
	計	4,995,921	7,994,639	10,045,962	7,328,200	
	対前年度増減率		60.0	25.7	△ 27.1	
区分		R02決算額	R03決算額	R04決算額	R05当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	1,470,035	878,682	764,710	973,500	
		1,470,035	878,682	764,710	973,500	
	②修繕費	723,361	325,600	291,500	330,000	
	③光熱水費	932,566	578,380	1,233,284	902,000	
	④燃料費	142,270	4,960	9,260	110,000	
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)		804,171	360,030	330,000	
	計	3,268,232	2,591,793	2,658,784	2,645,500	
対前年度増減率		△ 20.7	2.6	△ 0.5		
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		8,264,153	10,586,432	12,704,746	9,973,700	
(4)合計のうち運営コストの割合		60.5	75.5	79.1	73.5	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する		0	57,064	211,959		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合			0.7	2.1		

Ⅲ 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	R02決算額	R03決算額	R04決算額	備考
a) 施設使用料収入	0	57,064	211,959	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	9,219,000	9,871,350	9,973,700	
収支差額 a)－b)		△ 9,814,286	△ 9,761,741	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	R02決算額	R03決算額	R04決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a－トータルコスト)				
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	R02決算額	R03決算額	R04決算額	備考
a) 自主事業の収入		45,100	124,300	スマホ教室、飲料販売
b) 自主事業の支出		24,516	48,305	飲料仕入れ
収支差額 a)－b)	0	20,584	75,995	
c) その他事業の収入		991,900	1,590,000	シニアクラブ事務局受託、光熱費高騰対策支援金
d) その他事業の支出				
収支差額 c)－d)	0	991,900	1,590,000	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	90%以上	99.1%	3	
B サービス内容の満足度	90%以上	99.5%	3	
C 従業員対応の満足度	90%以上	99.5%	3	
D 施設安全対策の満足度	90%以上	98.6%	3	
E 美観・清潔感の満足度	90%以上	97.8%	3	
F 施設の利用者数	7,000人	6,980人	2	<p>【達成できていない点・主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う利用制限、利用控え等が 続いたほか、利用主団体であるシニアクラブの活動も伸びなかったため。 <p>【いつまでに、どのように対応するか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末までに、施設利用者を新型コロナ前の令和元年度並みに回復させるため、シニアクラブと連携しながら活動を活性化する。

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3) 収支の改善状況 ※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点としてください。

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	0	【達成できていない点・主な課題】 ・スマホ教室が好評であった。スマホの利用方法からレベルアップを図り、施設から発信した情報を受診したり、予約したりできる仕組みを研究していただきたい。
2	前年度と同等の収支状況になっている。		
1	前年度より収支状況が縮小している。		
0	収支差額が赤字となっている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	3	
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	【達成できていない点・主な課題】 ・民間の実施は可能であるが、主な利用者である高齢者からは施設利用料を徴収できないため、行政の関与が必要である。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	【達成できていない点・主な課題】 ・コロナ禍による利用控えはあったものの、主な利用団体であるシニアクラブ会員も減少し、利用者数が伸びていない。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・市の介護予防教室や、そこで育った指導者による教室の開催など、健康長寿の拠点として施設の活用を促す工夫が必要である。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計 27 / 33

V その他自由意見

令和3年度から現指定管理者の管理となり、令和4年度はスマホ教室が好評であった。
令和5年度は指定管理者と高齢者がともにレベルアップし、DXの推進が図られることに期待したい。(施設からの情報をLINEで受診、LINEやHPから施設予約を可能にするなど)